

大雨のときの心得

おお あめ

こころ え

1 みずか じょうほうしゅうしゅう 自ら情報収集を!



知っている
準備につながら



いつ発生するか予測できない地震と違い、台風や梅雨の大雨は気象情報などを収集することで発生を予測できることがあります。テレビやラジオ、松山市などから配信される気象情報、避難情報に注意し、早い段階から情報収集に努めてください。

事前に登録しておこう!

モバイル松山消防(市民向け災害情報メールサービス)

サービスの内容

モバイル松山消防は、松山市内で発生した火災、気象情報、防災情報、避難情報、地震情報、消防防災広報などの情報配信を電子メールで行います。

なお、松山市からのお知らせやメンテナンスのためのメールを送信する場合があります。

登録できる方

このサービスはどなたでも登録することができます。また、どこにいても携帯電話やパソコンがあれば情報を受け取ることができますので、耳の不自由な方に特に有効なサービスです。

登録方法

登録用アドレスに空メールを送信、登録してください。

(登録用アドレス)『mtym@mpx.wagmap.jp』

二次元バーコード→



モバイル松山消防に関するお問い合わせ先：消防局通信指令課
TEL 089-926-9103 FAX 089-926-9198

雨が降ってきたら確認!

情報の収集方法

■災害用テレホンガイド
(松山市消防局)
TEL089-925-6622

■防災情報公開
(松山市ホームページ)
<http://www.bousai.city.matsuyama.ehime.jp>

■えひめの防災・危機管理
(愛媛県庁ホームページ)
<http://ehime.force.com/>

2 もしも内水氾濫が起ったら!?

ない すい はん らん お

人は無理せず垂直避難



浸水が始まると水深が浅くても流れの速いところでは歩行が困難になります。また、マンホールや水路などが確認できず、転落するおそれがあります。特に夜間はまわりの状況が確認しにくく、非常に危険です。**状況に応じて自宅の2階や近くの丈夫な建物の2階以上など屋内の高いところに避難しましょう。**自宅内での避難が困難な方など、助けが必要な人への支援方法を地域で決めておくことも大切です。

貴重品は高い所へ移動



水に弱いパソコンや電化製品、貴重品、避難の際に必要な懐中電灯や靴、非常持ち出し袋などもできるだけ移動させてください。



松山市の内水氾濫

松山市では近年何度も内水氾濫が発生しています。平成22(2010)年7月と平成27(2015)年7月には、大雨により床上・床下浸水などの住宅被害が発生したほか、道路冠水などにより交通機関が大きく乱れました。



水路 道路

平成22(2010)年7月の被害状況



平成27(2015)年7月の被害状況